

# Weekly コラム

令和3年6月8日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## バイデン政権出航

アメリカ建国史上最高の投票率で「バイデン大統領」が誕生し、大国の方向性に注目が集まっています。

バイデン大統領は就任3日間で30の大統領令に署名しました。ちなみにトランプ氏は就任後10日間で7つの大統領令をだし、仕事は早く決断力があると言われたのですが、バイデン大統領のスピード感はさらに上回るものです。

大統領令は、議会の承認を得なくても実行できるものであり、歴史的には就任直後に発令されることは稀でした。ジョン・アダムス氏とトーマス・ジェファソン氏は大統領就任中に7つしか発令しませんでした。戦時中などアメリカが有事に直面しているときに多く発令されるのですが、早急なコロナウイルス対策が求められる中、バイデン大統領の決断力は高い評価を得ています。

バイデン大統領が発令した主なものは、「パリ協定再加入」「世界保健機構 (WHO) 復帰」「メキシコとの国境の壁建設中止」「イスラム教徒が多い国からの入国禁止の撤廃」など。トランプ政権政策を覆すものが多く、確かに相手国からすると賛美の声がでるものばかりです。環境保護、移民、コロナ対策に関するものが中心でバイデン政権の優先事項を読み取ることができます。

バイデン大統領の人事にも期待が持たれています。既に上院で承認されたオースティン氏は黒人として初めての国防長官であり、トランスジェンダーの政府高官への採用も

おこなわれており、人種、宗教、性など多くの意味でアメリカ史上最も多様性があります。

環境対策やコロナ対応にも前政権との違いを打ち出しています。トランプ氏は環境問題より経済優先を表明していました。実際、前政権は主要な科学機関に気候変動懐疑論者を任命し、環境問題はそれほど深刻でないと発信していました。コロナウイルス対策でも専門家を信頼しない「アンチ科学」の立場でした。

しかし、バイデン大統領は人事と政策を通じて「エビデンスを根拠にした科学を信じる」姿勢を明らかにしています。「気候問題担当大統領特別特使」を新設し、ジョン・ケリー元国務長官を指名しました。前政権で言動を制圧されてきた博士を、主任医療顧問に任命し、復帰したばかりの WHO の代表にも選びました。

ワシントンでの国政経験45年のベテラン、バイデン大統領の手腕に要注目です。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、[skc-soudan@skc.ne.jp](mailto:skc-soudan@skc.ne.jp) まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。